

## 【目次】

地 域	No.	要 望 ・ 意 見	担当課
野市町	1	不登校児童の実態について	学校教育課
野市町	2	自治会町内会活動について	地域支援課
野市町	3	ヘリポートや空き家対策等について	防災対策課
野市町	4	町内会への加入促進について	地域支援課
野市町	5	移住・定住促進事業について	地域支援課
野市町	6	農業とIT企業誘致について	農林課 商工水産課
野市町	7	水路について	建設課
野市町	8	昨年の地区懇談会でお願いした件について	建設課
野市町	9	地区担当職員について	地域支援課
野市町	10	正しいごみの捨て方について	環境対策課
野市町	11	生活道路の障害物について	建設課
野市町	12	夜間中学の取り組みについて	生涯学習課 福祉事務所
野市町	13	用水路の修繕について	農林課
野市町	14	道路沿いのゴミステーションについて	環境対策課

NO.	野市町地区 1 不登校児童の実態について
受 付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	不登校児童の実態について、これまでの経過と状況を教えてほしい。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【教育長】 香南市の不登校発生率は全国と比べると高くなっており、特に中学校は全国平均は約2%だが香南市は約5%と合併当初からずっと高い。スクールカウンセラー等と協力して取り組みを続けている。 不登校になった原因を絞り込むのは難しく、学力低下や友人関係や家庭問題等がきっかけになるとアンケートに出ているが、原因は1つだけではなく、さまざまな要因が重なって不登校となっている。不登校を減らすことも必要だが、新たな不登校を出さないということが大事。そのために、授業の改善に取り組み、子どもが活躍する場を増やし、自己肯定感を感じられるような居場所づくりに取り組んでいる。また、不安定になっている子をいち早く察知するために、教師が情報共有をし、研修を受ける等学校全体で取り組みを進めている。市内でモデル校となって3年くらい前から取り組みをしている学校があり、新たな不登校の発生率が大幅に減っているのので、市全体に取り組みを広げたい。</p>
担当課	学校教育課

NO.	野市町地区 2 自治会町内会活動について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	自治会町内会活動についての意見要望を述べる。昨年の懇談会でも述べたが、退職あるいは現役の公務員の積極的な協力なくしては自治会町内会の発展維持はできない時代となっている。公務員は全体の奉仕者としての意識が身にしみこんでいるはず。自治会役員を会員の中から選ぶのは当然であるが、最後の切り札として公務員に期待する。昨年の懇談会の議事録を元に、この一年間の市としての総括をお願いしたい。関連して、私は自治会・町内会活動をボランティアとは考えていない。地域支援課ではボランティアか否か課内での見解は一致しないようだが統一見解が必要ではないか。全体については地域支援課に問い、職員教育については市長に聞く。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【地域支援課】          一点目の「退職者を含む公務員に、もっと町内会や自治会に積極的な関わりを持ってもらいたい」ということについては、まず、自治活動とは、住民自らが自分の住む町を良くしようとする事だと考えている。そして、公務員であれ、地域に入れば一住民であり、職員には、住んでいる地域では住民の1人として積極的に活動を、と促している。また、自治活動への職員としての関わりについては、香南市では地区担当職員制度として、消防を除く全職員の担当地区を決めており、約400名の職員がそれぞれの地域に入ることによって、地域のみなさんと信頼関係を結んで、地域の活動に協力して一緒にやっていくようにしている。</p> <p>二点目の「町内会、自治会活動はボランティア活動なのかどうか、という見解を課として統一すべき」ということについては、ボランティアというのは主体的、自発的に行うもので、周りとの協力しながら支えあって活動することだと考えている。自治活動も自主的、自発的に自分の住む町をよりよくする活動なので、ボランティアは自治活動につながると思っている。その点については地域支援課内で見解の統一ができていていると考えている。</p> <p>【市長】          公務員は全体の奉仕者だが、土日も含めて、というわけではない。市の職員も地域の住民。職員には仕事でも仕事以外でも地域に出向けという話はしている。自治活動とは、あくまでも地域に住んでいる方が自分たちの地域をよりよくしたいとか、一緒に何かしたいとかあるいは防災対策を一緒に進めるということの延長線上にある。全体の奉仕者であるから土日勤務時間外もいろいろしなければならないということではないと考えている。新規採用職員にはコミュニケーション能力を持って、という話をしている。</p> <p>高齢化が進んだり人が少なくなったりで地域の活動が難しくなっているとは思っている。会長や役員をしている方は苦勞もあると思うが、地区担当職員というものを作っているの、一緒にやってほしい。職員も住民も「こうあるべき」という義務を感じてしまうとお互いしんどくなって関係が難しくなると思う。例えば香我美町の山南地区では6月に運動会を開催しているが、職員が司会をしたりチームのリーダーをしたり、地元の方と一緒に取り組んでいて、理想的な形だと思う。地域の方が苦勞ばかりされてもいけないので、職員がいろんなことを手伝わせてもらおう。地域と職員と、一緒に取り組んでいけたらと思う。</p>
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 3 ヘリポートや空き家対策等について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	<p>阪神大震災後、2週間目に現地に入った経験があるが、その時通れたのは国道1号線のみ。香南市でも地震が起こったらほとんどの道路は通れなくなるのではないかと。香美市にはヘリポートが整備されているが、香南市でも整備を考えているか。また、空き家の特別措置法ができたが、香南市ではどのような対策をしているのか。</p>
対応状況等	<p><b>【地域への回答内容】</b></p> <p><b>【防災対策課】</b> 香南市ではヘリポートの整備はしていないが、ヘリポートとして活用できる広い場所、例えばふれあい広場とか学校のグラウンドについてはピックアップしている。また、ホバリング(空中で停止)して、ヘリから物資を降ろしたり、救助者を吊り上げたりできる場所についても調べている。避難タワーの屋上にもホバリングができるというマークをつけている。道路を塞ぐ恐れのある空き家・老朽住宅については条件はあるが補助金を出して撤去してもらっている。避難路に面したブロック塀の撤去にも補助金を出しており、できるだけ道路の閉塞が少なくなるように対策を進めている。</p> <p><b>【市長】</b> 高知県中東部の防災総合拠点として野市の青少年センターが指定されている。香我美の自衛隊駐屯地もヘリポートではないが災害時には防災拠点として機能する。ヘリポートは、山間部に作れないかという話もあったが、ある程度平地が必要なので適地がなくて香南市ではできていない。</p>
担当課	防災対策課

NO.	野市町地区 4 町内会への加入促進について
受 付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	最近、たくさんの新築の家ができています。新しく家ができた時の対応について、町内会への勧誘は地域でやるのか、市がやるのか。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【地域支援課】        転入者には、町内会加入促進のチラシと町内会長の連絡先を渡している。また、同意書をもって、町内会長にも転入者の情報を渡している。新しくできた家を町内会に誘いたいと言って地域支援課にチラシを取りに来てくれた町内会もある。市の方でも加入の周知はしているが、地域でも加入促進をしていただけるとありがたい。</p>
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 5 移住・定住促進事業について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	資料にウェルカム移住・定住促進事業とあるが、移住者のターゲットを具体的に絞っているか。絞って施策を考えないと結局税金の無駄になるのではないか。選択と集中が必要だと思ふ。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【地域支援課】 ターゲットは絞っていない。県外へ移住相談会等に行く場合は就農希望者等に絞ることもあるが、全体的にはしていない。 香南市ではH28年の9月から移住相談窓口を設置しており、年々相談件数が増えている。H30年度については新規・再相談を含め200件弱を受け付けた。その中で、香南市に移住してきたのは24組32名。窓口の定着化ができてきたことで、相談数も移住者も増えている。 転入者へのアンケートで、全体の約7～8割が移住者（転勤や入学進学等ではなく）ということがわかっているので、今後もそういった方に向けた施策を考えて、積極的にアプローチをしていく。</p>
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 6 農業とIT企業誘致について
受 付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	資料に情報サービス施設設置促進とあるが、農業についても、ITを使ってシステムチックにする必要があるのではないかと。後継者不足等の問題とも連携して進めてほしい。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【市長】  情報サービス施設設置促進も、定住・移住促進の一環。香南市は地理的優位性があり、空港や工科大も近いしポリテクもある。すぐの話ではないが、ポリテクで「香南市枠」を作ってもらい、卒業後に香南市内のIT企業に就職してもらおう、というようなことも考えている。IT誘致と農業については一緒に考えていく。資料に載っている新しい会社も、さまざまな業種、企業が入って設立をしている。ITはいろいろなこととつながりがあるので、その窓口となる企業と協定を結んでおり、今後、考えられる施策を1つずつ具現化し、宣伝していく。</p>
担当課	農林課 商工水産課

NO.	野市町地区 7 水路について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	<p>地元の水路にあるグレーチングが長すぎて、子どもが落ちたら怖い。上げやすいように改良できないか。かなりの水量で、出口まで距離がある。また、水路が曲がったところにゴミが溜まってつまる。セメントでふたをしいるので上げられない。</p>
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【建設課】 現場を確認しに行く。</p> <p>—後日対応— 【建設課】 4/24 に質問者と現地確認を実施。水路蓋については修繕を実施予定。</p>
担当課	建設課

NO.	野市町地区 8 昨年の地区懇談会でお願いした件について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	去年の地区懇談会でお願いした件について、12月に見に来てもらって工事をしている場所もあるが、早めに全部の工事を終わらせてもらいたい。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【建設課】 今年度、予算計上しているところもあり、できる範囲で順番に工事を進めていく。</p> <p>－後日対応－</p> <p>【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①擁壁枯れ木の伐採撤去→来年度以降に</li> <li>②法面工法→今年度工事施工予定</li> <li>③赤線沿いの伐採→隣接地権者交渉不能で回答済</li> <li>④新設避難道の浸水→個人所有地からの表面水により対応困難</li> <li>⑤市道舗装修繕→まとめて発注</li> <li>⑥市道側溝修繕→作業員で対応済</li> <li>⑦建設課用地の草刈り→作業員で対応済</li> <li>⑧市道舗装修繕→まとめて発注</li> <li>⑨側溝スクリーン取替→作業員で対応済</li> <li>⑩市道舗装補修(マンホール)→作業員で対応済</li> <li>⑪市道舗装拡幅→保留</li> <li>⑫公園の排水対策→建築ブロックを並べることで対応済</li> <li>⑬擁壁目地の老朽→経過観察</li> <li>⑭市道ヒナノ線拡幅→一部区間は今年度発注予定</li> </ul> <p>5月24日に建設課担当より質問者へ報告済。今後も必要に応じて連絡をする。</p>
担当課	建設課

NO.	野市町地区 9 地区担当職員について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	自分の地区は人口増加地区だが自治会運営が厳しい。地区担当職員に、もっと地区の悩みを吸い上げてほしい。会に招待していないのが悪いのかもしれないが、あまり顔をみたことがない。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【地域支援課】 担当地区の総会には必ず顔を出すようには言っている。今年度の地区担当職員の名簿については、また自治会長さんへ送る。地区担当職員にいろいろ言ってもらえたら。解決に向けて、できることを一緒に考えていけたらいいと思う。</p>
担当課	地域支援課

NO.	野市町地区 10 正しいごみの捨て方について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	幼稚園の出入り口にごみステーションを設置させてもらっているが、ペットボトルのラベルをはがしてなかったり、硬質プラが混ざっていたりで回収してもらえないゴミ袋があって、幼稚園に迷惑をかけていないか心配。正しいごみの捨て方について、良い指導方法や啓発方法はないか。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【地域支援課長補佐】※前環境対策課  去年の2月から、法律ではないが、リサイクルの関係でペットボトルの捨て方が変わっている。香南市はリサイクル協会という全国的な組織にも入っており、ごみ処理を委託している業者とも協議しながら捨て方を決めている。硬質プラについては、H28年から、日は限定されるがステーションでも回収できるようになっている。地元の当番員にも助けてもらっている。ごみの捨て方についてはいたちごっこの面もあるが、広報やチラシ、ポスターで周知しており、今後も引き続き周知するように環境対策課に伝える。</p> <p>—後日確認—  【環境対策課】  同上。</p>
担当課	環境対策課

NO.	野市町地区 11 生活道路の障害物について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	生活道路にコンクリートブロックを置いているところがあり、幅員が狭くなって危険。市で規制できないか。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【建設課】 その件は承知しているが、個人の道なので、市からは規制できない。改修して道を広げることになればまた違ってくるかもしれないが、今のところそういう話もない。</p> <p>—後日回答—</p> <p>【建設課】 質問者とは後日電話で話し、市の方向性について了承してもらった。 平成23年度に4mの道路となるよう、地権者に相談したが、条件があり買収には至らなかった。年数も経っているのもう一度、地権者に用地の相談に行きコンクリートブロックの撤去をお願いする。</p>
担当課	建設課

NO.	野市町地区 12 夜間中学の取り組みについて
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	資料に「青年に希望」とあるが、引きこもりも多いのではないか。不登校だった子が卒業したら、引きこもってしまうのではないか。高知県では夜間中学の取組を進めているが、香南市の状況を教えてほしい。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【教育長】 義務教育の間から、地域や周りの大人たちとのつながりを作るのが大切。若者サポートステーション等とも連携して、若者が夢や将来の展望をもてるような、何らか前向きになれるものに出会える取組を進めたい。</p> <p>【教育次長】 夜間中については、今のところ市単独での取組はしていないが、県が力を入れており、市も県に合わせて考えていくようにする。</p>
担当課	生涯学習課 福祉事務所

NO.	野市町地区 13 用水路の修繕について
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	町田堰から三叉の用水路が破損しており、コンクリートがひび割れて水漏れしている。去年は市長も来てくれてしずえ切りをしたが、何か良い方法はないか。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>【農林課】 町田堰ができてから40年ほどたっており、H26年から29年にかけて改修の調査をした。30年度から工事に入る予定だったが、6月の豪雨被害の関係で今年度から取り掛かることになっている。水路の修繕は7年後くらいになる予定。</p> <p>－後日回答－ 【農林課】</p>
担当課	農林課

NO.	野市町地区 14 道路沿いのゴミステーションについて
受付	平成31年4月17日 水曜日 野市町地区懇談会で意見聴取
要望・意見	道路沿いにあるゴミステーションについて、地区外の人に捨てられるので困っている。「地区外の人には捨てないで」という看板が設置されているステーションを見たことがあるが、あれは市に言えばつけてくれるのか。
対応状況等	<p>【地域への回答内容】</p> <p>環境対策課に伝える。</p> <p>—後日対応—</p> <p>【環境対策課】</p> <p>4月18日に現場確認後、質問者に連絡をして、看板を取りに来てもらった。質問者が看板を設置済。</p>
担当課	環境対策課